



なつのかも



本校ホームページ
携帯・スマホ用サイト
でもご覧ください。

第190号 (R7. 4. 7)

練馬区立光が丘夏の雲小学校

入学・進級おめでとうございます。

校長 宮林 伸之

桜の花が咲き誇り、春爛漫の季節となりました。お子さんのご入学、ご進級おめでとうございます。

今年度は、17学級でスタートしました。73名の新1年生を迎え、全校児童481名の児童を教職員総勢56名で指導にあたります。今年度、「笑顔かがやく夏雲の子」「みんなで育てる夏雲の子」を目指して、教育活動を展開してまいります。本校の教育活動に対するご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 「善因善果」…善い行いをすることで必ずよい報いがあるという意味。

昨年度の卒業式についてお伝えいたします。

晴天に恵まれた卒業式。光が丘夏の雲小学校で6年間を過ごした卒業生は、堂々とたくましい姿を残して巣立ちました。その巣立ちの場に入退場の合奏や呼びかけなどで関わった5年生（今年度6年生）は、卒業式を影で支え、大成功に導きました。その子供たちが最高学年として光が丘夏の雲小学校をリードします。とても頼もしい限りです。

卒業式を終えた午後のことです。卒業式に参加できなかった児童が登校し、校長室で卒業証書の授与式を行いました。児童は、担任の呼名に大きな声で返事をし、私の前に立ちました。そして、卒業証書を読み上げ授与した瞬間、担任は目に涙をためて肩を震わせながら男泣きしたのです。児童もその担任の姿を見て、大粒の涙を浮かべじっと担任の姿を見ていました。その光景は、まるで一幅の絵に触れたような瞬間でした。実はその担任は、児童に根気強く接し続けてきました。そして常に寄り添ってきた結果、最後に児童から最高の善報を得たのです。教育に携わってきた幸せを実感しました。

2 「笑顔は、幸福の結果というよりも むしろ幸福の原因」

今年度新たな体制になって、初めて教職員に伝えた言葉です。読書を通してこの言葉と出会いました。今まで「笑顔」について何度か学校だよりなどで思いを伝えてきましたが、上記の言葉が私の考えや気持ちにぴったりと合いました。笑顔でいることが原因となって、結果として幸せを招くということ。光が丘夏の雲小学校の子供たち・教職員には、常に笑顔で生活できるよう努めてまいります。

上にあげた2つのことは、「原因と結果」つまり因果関係が明確になされています。目の前の子供が今見せる姿は、結果の姿であり原因がどこかにあるのです。つまり、様々な態度をとる子供たちは、そのような態度をとる原因があるのです。私たちは、子供たちが見せる姿の原因を常に考え、善い原因を子供たちとともに積み重ねていきたいと願っています。

今年度も、保護者・地域の皆様のご支援をいただきながら、光が丘夏の雲小学校の教職員は子供たちの幸せや、子供たちの無限の可能性を信じ努めてまいります。令和7年度の1年間、どうぞよろしくお願いいたします。